

小川駅西口地区市街地再開発事業及び関連事業について

小川駅西口に位置する区域(右図赤枠内)では、地元の権利者等で構成される再開発組合により、市街地再開発事業を進めています。

本パネル展では、本事業で整備する施設建築物(再開発ビル)や駅前(交通)広場、区画道路等の施設計画を紹介します。

■ 施行地区

小川西町四丁目及び小川東町一丁目各地内
面積 約1.2ha

■ 事業主体

小川駅西口地区市街地再開発組合
(令和2年4月17日設立)

■ 組合員数

42名(組合設立時点)

本事業を契機として小平市が検討している以下の関連事業の一部についても概要を紹介しています。

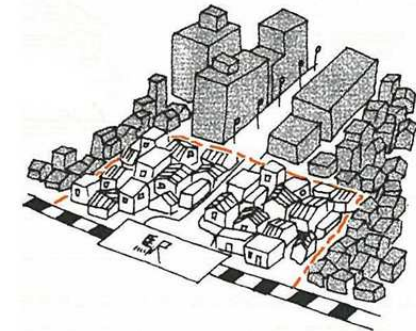
- ・公共床(4階・5階)の整備(西部市民センター等の移転)
- ・地下自転車駐車場の整備
- ・ペDESTリアンデッキの整備(再開発ビルと駅舎の接続)



市街地再開発事業は、公共施設の整備や良好な住宅の供給など、安全かつ快適な生活空間を創出する総合的なまちづくり事業です。

○地域の課題

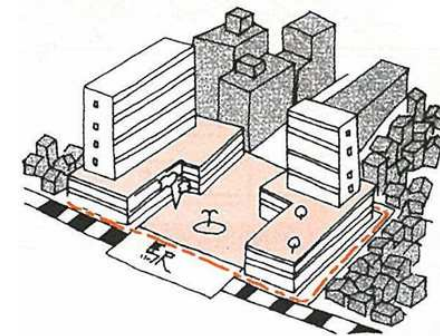
- 老朽化した建築物が密集している地区
- 道路等の都市基盤が未整備な地区
- 狭い道路が多く、防災面に不安がある地区
など



都市再開発法に基づき実施

○市街地再開発事業

- 古い建築物を取り壊し、不燃化された共同の中高層ビルを建築
- あわせて道路やオープンスペース等の公共施設を整備



小川駅西口地区では、
「『小平市の西の玄関口』としてふさわしい地域拠点の形成」
を地区整備の目標に掲げています。